

関空第2滑走路オープン 日本初となる世界標準の国際空港誕生



大阪府副知事 **三輪 和夫**

私は、昨年9月、大阪商工会議所の野村会頭や関西国際空港株式会社の村山社長と北京を訪問し、中国国際航空・中国国際貨運航空に対し、関空線の増便を要請してまいりました。この結果、旅客便・貨物便ともに大幅な増便を実現していただきました。このほかにも中国を始めとするアジア路線の増便や新規路線の就航が相次ぎ、関空のアジアのゲートウェイとしての存在感が急速に高まりつつあると考えています。

一方、後日、中国国際航空の関係者が、私のオフィスに増便の報告に来ていただいた際、増便に際して希望していた時間帯が込み合っており、一部については、より早いダイヤで運航せざるを得なかったことをお聞きし、関空に対する期待に応えるには、1本の滑走路による運用では限界が近づいていると実感した次第です。

こうした中、来月2日、待望の第2滑走路がオープンします。これにより、これまで混雑していた時間帯においても増便の余裕が生じてまいります。また、完全24時間運用が可能となり、深夜貨物便の誘致にも優位に立つことができます。これまで以上に、航空会社、ひいては旅客や荷主の皆様ニーズに応えやすくなり、関西とアジア、そして世界との人・モノの交流が促進されるものと大いに期待しています。

大阪府では、折りしも今年が遣隋使派遣1400年、日中国交正常化35周年にあたることから、「平成の遣隋使事業」を展開するとともに、今秋にはアジア主要都市サミットを企画するなど、中国を始めとするアジアとの交流強化と併せて、関空のPRや利用促進を図っております。また、大阪から世界へ向けた情報発信にも全力で取り組んでいます。今後も、こうした取組を通じ、関空のアジア、そして世界のゲートウェイとしての地位が一層向上するよう、関西国際空港株式会社と共に努力していきたいと考えております。

どうか読者の皆様におかれましては、関空事業の推進に一層のご支援をよろしくお願いいたします。

